

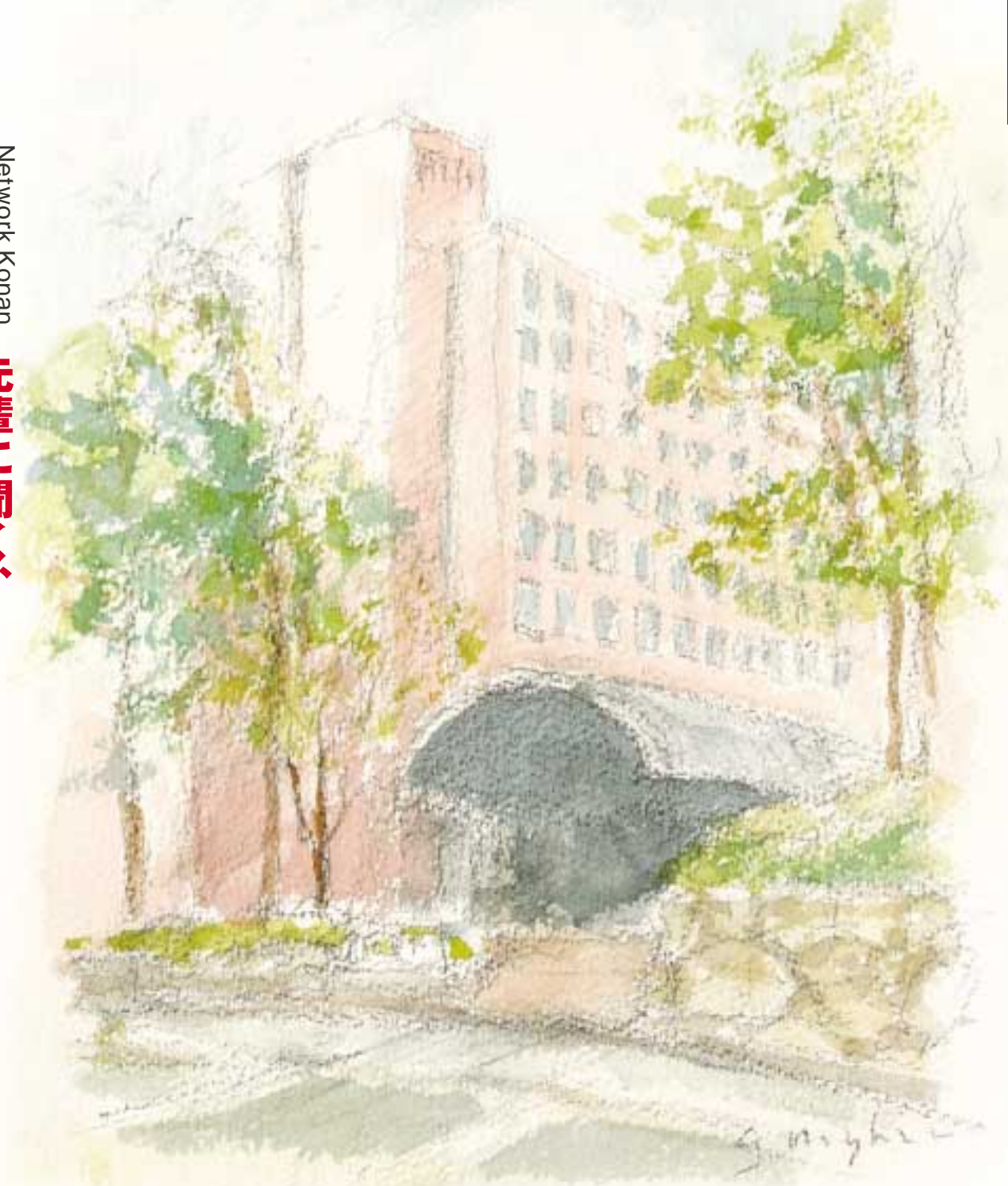
# 甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

No.16  
2003 December

甲南Today No.16



研究室  
訪問

Network Konan  
つながりー  
甲南ネットワーク

特集

## 先輩に聞く、 憧れの職業への道

いま、家族に何が起きている？

家族変動の分析

2003年12月9日発行 【発行】甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-434(代)

## 鳩杖



「恩賜の杖」(鳩杖とはづえ)



鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈞三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。

平生先生とはどういう存在か/敗戦直後に亡くなられて/その数カ月後に入学した私の学年は温容に接していない/岩崎校長代理の入学祝辞で「個性重視」「知育・徳育・体育を等しく重視」という説明/要するに「ガリ勉」しなくていいのかと受け取った/今思えば個性と知・徳・体の釣り合いとは補い合って/豊かな人生を約束する/よい意味での「高度の平凡性」とわかる/平生先生の甲南学園における意味は/どついつ存在で「ない」かを考えるとよい/甲南には宗教色が無い/あまりに高邁な教育理念は窮屈だ/創立者が崇高すぎるのもどつつか/軽口二つ言えない/限定しすぎは排他的だ/実学的なのは専門学校だ/経営本位は誇りが持てない/たまたま入学式の日/別の大学に行った/式終えて講堂から出てくる新入生の列に突進する入部勧誘/体を張って阻止する職員/甲南では部のほりと机と椅子/来るまで待たせ/姿勢/傍の木立に先生はおられる/等身大の胸像となつて/仰ぎみる位置でなく/ひっそりと凹地の中に/頭に白い鳥の糞を載せて穏やかに。



中井久夫教授

文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。精神医学の経験。全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。

鳩杖に対する意見/感想をいただきましたので紹介します。

中井先生のコラムはすいぶん前の青春時代のことを書いておられますが、新鮮で口々に満ちているのはなぜでしょう(75年卒・男)

読めは何となく先生の人間味を感じ、甲南の卒業生が共通して持つ何かを感じます。(65年卒・男)



1937年平生鈞三郎肖像除幕式



インターネットで甲南へ  
<http://www.konan-u.ac.jp>

## CONTENTS

- 2 WHAT'S NEW KONAN  
甲南大学先端生命工学研究所(FIBER)設立  
増井禎夫名誉教授 オーダーオブカナダ勲章を受章  
東海地区教育懇談会  
2003年度摂津祭開催  
2001・2002・2003年度 文部科学省研究開発学校研究発表会  
21世紀に光り輝く甲南を目指して
- 3
- 4

## 5 Network Konan つながる!甲南ネットワーク ●先輩に聞く、 憧れの職業への道



## 9 研究室訪問 家族変動の分析 いま、家族に何が起きている?



## 11 甲南を使いこなそう! 甲南キャンパスガイド 学内の気になるスポット探訪

## 13 ハガキで寄せられた疑問を徹底調査 こちら甲南特捜部 甲南大学の設備にはどれだけ費用がかかっているの?

## 15 50th Anniversary 創立より、いまへ受け継ぐスピリッツ クラブつながりレーション 体育会陸上競技部 文化会映画研究部

## 17 Pick up 高・中Topics 情報教育環境 コンピュータをツールとして ごく日常的に活用する先駆的な教育環境

## 18 トゥレーヌ甲南学園だより 地域に学ぶ労働体験「スタージュ」 働くことで地域をより深く理解する

## 19 第一線で活躍中の卒業生にアクセス! IT'S KONAN STYLE 分け隔てなく、相手を尊重する 私の気質は、生粋の甲南生の証です

## 21 グルメ・KONAN 京都編 京都を訪れたら寄ってみたい ゆったりくつろげる甲友の店

## 23 クローズアップ編集の現場 24 甲南フォーラム

表紙の絵



西井義晃 画  
「10号館」  
西井義晃さんプロフィール  
1961年 甲南大学経済学部卒業  
元自由美術会員  
個展の予定  
1月8日(木)~13日(火)  
大阪道頓堀 松竹座前  
ギャラリー香  
西井義晃小品展  
次のURLでも作品集をご覧ください  
http://webgarou.net

## 甲南大学先端生命 工学研究所(FIBER)設立



生命・健康・環境・材料の4領域を束ねて  
「ひと」を科学する甲南大学先端生命工学研究所  
(Frontier Institute for Biomolecular Engineering Research)

10月31日に開催された理事会において、甲南大学先端生命工学研究所(FIBER)の所長・杉本直己理工学部教授(の設立が承認されました。

FIBERは、生命分子工学分野において、高度で先端的な研究や教育を実施し、また、産官学の共同研究を推進すること、科学技術の推進と地域の総合的発展に寄与し、学術研究の連携拠点となることを目的として設立されます。甲南大学では、これまで、文部科学省が推進する「私立大学ハイテク・リサーチ・センター整備事業」の補助金を受け、学園創立80周年記念事業のひとつとして、2000年、ハイテク・リサーチ・センター(HRC)を設立し、生命科学関連と情報科学関連の2分野のプロジェクトについての先端的な研究を進めてきました。

FIBERは、ポストHRCプロジェクトとして2003年3月に採択された「分子環境学による細胞内外セリンゲンステムBASIC Engineer-ing)の創製(仮称)プロジェクト」を実行に移し、本学、神戸薬大、兵庫医大、産総研テックシエナシエナリング研究センターの連携による「メディカルサ

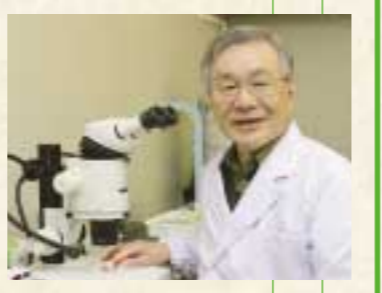
イェンス研究機構」の中心的活動拠点となり、さらにはナノバイオテクノロジーの研究プロジェクトを産学連携ですすめるための研究活動を束ねる組織を目指します。FIBERの行う研究プロジェクトには、各省庁の助成を受けて推進する事業、産学連携、メディカルサイエンス研究機構の一翼を担うものなどが含まれます。また、スタッフとして所長、学内の兼任教員、学外から特別研究員、博士研究員、リサーチアシスタント、若干名の若手FIBER専任教員を採用します。充実した先端的な研究成果をあげ、学内外の教育活動にも参加することで、甲南が果たす社会的貢献が高く評価され、甲南の生命分子工学研究が個性輝く「甲南の顔」になっていくことが期待されています。

## 東海地区教育懇談会

9月23日、名古屋市内にあるマリriottアソシアホテルにて東海地区の「父母を対象とした教育懇談会」が実施され、57名の「ご父母」にご参加いただきました。吉沢英成学長の挨拶に続いて、小林均学生部長が本学生に行った意識調査の結果を報告。その後は個別相談会とし、学修、就職、学生生活、留学など部門別に担当の教員が「ご父母」の相談にお応えしました。参加いただいた「ご父母」からは、他の学生の保護者との交流や、学部の教授に個別のご相談ができて有意義でした(文3年)、「地方限定のため、少数で中身の濃い懇談会になり本当にありがとございました(経営1年)などの意見が寄せられました。

## 増井禎夫名誉教授 オーダーオブカナダ勲章を受章

本学名誉教授・トロント大学名誉教授の増井禎夫先生が、カナダの民間人に与えられる勲章としては最高位の「オーダーオブカナダ勲章」を受章されました。増井先生は、甲南大学で13年間かけて開拓した生物学のアイデアをカナダで発展させ、ラスカー賞、ガードナー賞などの国際的な賞も受賞されています。



## 2003年度 摂津祭開催

第39回摂津祭が11月20日から24日まで行われました。摂津祭に携わるスタッフおよそ400名がお互いのことを理解しあい、尊重しあいながら今まで以上の摂津祭を創り出そう、また、来ていただいた方や模擬店に参加する人たちにも、もっと摂津祭を知っていただくという気持ちを含め、今年の摂津祭のテーマは、『Resonance(共鳴)』。文化会美術部が正門に制作した「おもちゃの国のお城」が来られた方々を出迎えました。天候不良のため初日のオープニングセレモニー、演武祭、模擬店が中止となってしまうことが2日目以降は、クニフの日の成果を発表する展示や演劇祭などが予定どおり行われ、笑顔とエネルギーがキャンパス中にあふれる5日間でした。



2001・2002・2003年度  
文部科学省研究開発学校研究発表会

「人と人、人と自然、人と社会の共生」を目指す環境教育を、  
幼・小・中・高・大の18年一貫教育を通して展開する教育研究開発

研究開発学校制度とは、教育実践の中から提起される諸課題や、学校教育に対する多様な要請に対応した新しい教育課程や指導方法を開発するため、学習指導要領等の国の基準によらない教育課程の編成・実施を文部科学省が認める制度です。2001年度、甲南高等学校・中学校、甲南女子中学校・高等学校および甲南幼稚園・小学校は、文部科学省研究開発学校の指定を受け、2004年3月までの3年間、「人と人、人と自然、人と社会の共生」を目指す環境教育を、幼稚園から大学までの



院生の岡田泰典さん(文学部谷口研究室)の問いかけに、農業体験学習の参加児童・生徒がはきはきと答えました。

◀児童会・生徒会自らが計画し実現させた合同学習の成果についても報告しました。



18年間一貫教育を通して展開する研究開発を課題とした研究に取り組んできました。この研究のねらいは、環境教育の実践を通じた系統的な力キエラムの作成と子どもたちの心の成長への影響について研究開発することにあります。

最終年度にあたり、11月14日、甲南女子中学校・高等学校において、兵庫県企画管理部大学・教育局の塚本隆文局長を来賓に迎え、県内外の教育関係者120名参加のもと、研究成果の発表会を行いました。

午前中は、トウレー又甲南学園の生徒も加わった「世界子ども環境会議」を含む異年齢集団による合同授業の実施と14の新設教科・科目が公開され、ドイツ・フンボルトシュールをはじめとする海外協力校からのパネルが展示されました。午後からの講堂発表においては、3学園の教員による成果報告をはじめ、児童・生徒・学生、院生、文学部谷口ゼミ(が合同で取り組んできた「住吉川の環境学習」「農業体験学習」「児童会・生徒会の取り組み」を寸劇やスクリーンを使って報告しました。名古屋芸術大学の山田卓三教授からは、「18年の系統的な一貫教育は、基礎・基本という土台があってこそ実現するものであり、例えば、他人の「ミミ」を拾う前に自分の「ミミ」を拾わせること、納得のいく強制や、幼少期に覚えた丸暗記が生涯役に立ったりもすることなども土台づくりには欠かせない要素である。本日の公開授業講堂



合同授業「環境と言語」の俳句と写真・コラボレーションコンテストでは、各チームが決勝を目指し、テーマにそって撮影した写真と創作した俳句を披露。

発表は、いずれも素晴らしいものであったが、これは、しっかりと土台のうえに、研究開発における様々な取り組みの成果が反映されたものであると受け止めている。研究開発にあたって実際に苦労された点について紹介されなかったことは残念であるが、今後、一連の成果を公立学校でも活用できる一般化されたものにするための研究に発展させてほしいとの講評をいただきました。

今後は、18年間一貫教育において展開した3年間の環境教育の実践を検証するとともに、甲南のもつ独自性、共通性を生かしたさらなる3学園の連携のあり方についての検討が進められます。

21世紀に光り輝く甲南を目指して

理事長 池上 吉蔵



昨年12月に発行されました甲南Today No.12の特集「集まれ!甲友ファミリー」におきまして、「二十

一世紀を甲南学園のさらなる発展の世紀」と題して、教育・研究改革プログラムの進捗状況の「報告」とともに、本学園が将来とも個性豊かで特色ある教育研究活動を創出するためには、健全な財政基盤の構築が私の最大の責務である旨を述べさせていただきました。

この1年間の新たな教育・研究活動の展開と健全な財政基盤構築への取り組みにつきまして「報告」甲南ファン、甲友ファミリーの皆様のご理解を賜り、21世紀に光り輝く甲南を目指すために、さらなる「指導」鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

大学では、EBA総合コースの2年次生34名が渡米し、8月下旬からニューヨーク州立大学バッファロー校で1年間の留学生生活を開始いたしました。10月下旬に私がバッファロー校を訪れた際、途中成績ではあります。Money and Banking科目の受講生の成績トップ3をEBA総合コースの学生が占めたこと、喜ばしい報告があり、次代の国際的なビジネスリーダーが着実に育っていることを実感いたしました。

法科大学院(ロースクール)は、11月末に文部科学省の設置認可を受けて、1月と2月に2004年度入学試験を実施いたします。2006年から、新しい法書を継続的に甲南から輩出することとなります。また、付属機関として企業法務研究所等の設置も予定しております。

先端生命工学研究所(FIBER)が11月に設立され、たんぱく質や核酸など生命分子の機能を解明し、医療等への応用研究を行い、産学連携を推進いたします。

4月の新学期には、語学教育のための最新テクノロジーを装備した新6号館がオープン、首都圏での就職活動サポート、卒業生の交流強化や受験生への情報発信の拠点であるネットワークキャンパス東京を開設、体育授業、課外活動や学生の健康増進や体力向上を図るトレーニングルームの各施設の利用を開始いたしました。

また、西校舎の12・13・17号館を解体し、理工学部情報システム工学科の研究室、実験室、講義室、セミナー室、学生ラウンジ等を備えた、新棟の建設工事が8月に着工、完成は2004年8月の予定です。また、法廷教室、階段教室や24時間利用可能な自習室を備えた、地上10階建ての法科大学院専用棟が、2004年3月に完成予定です。

高等学校・中学校では、ダリッチ校、グレイリーテラス校との協定に続き、イリノイ大学附属高校との生徒交換プログラムの協定を締結いたしました。また、「人と人、人と自然、人と社会の共生」を目指す環境教育が、文部科学省の特色ある学校のあり方を探る研究開発学校の一つとして指定を受け、甲南幼稚園、小学校、甲南女子中学校・高等学校とともに一貫力キエラム作成や異年齢集団による各種体験学習にも取り組み11月には東京や近

畿各地の教育関係者等約120人が参加し、研究発表会を開催いたしました。

以上のような新たな教育・研究活動を展開し、将来とも個性豊かで特色ある教育・研究活動を創出するためには、これを支える健全な財政基盤の確立が必要であることは申すまでもございません。

学園財政は、国庫補助金の削減や少子化による学齢人口の急減などの影響を受け、昨年度は赤字決算となり、経済の先行き不透明感が増す中で、本年度決算見通しも前年度と同様の基調が継続するものと予測しております。

本年度の予算執行にあたり、財政基盤の強化を最重要課題として、財務状況に関する説明会を、学園内外に対して60回以上にわたり開催し、全学園を挙げて15%の経費節減に取り組んでおります。また、次年度予算は、引き続き15%の経費削減を行う一方、新規事業への投資や将来の改革投資に備える積み立てをも視野に入れて、健全財政の実現を目指して編成する方針でございます。

財政基盤を磐石のものとして、将来とも個性豊かで特色ある教育・研究活動を創出するためのチャレンジを積極的に行い、その成果によつて21世紀を本学園の光り輝く発展の世紀にするための礎を築くべく、重ねて甲南ファン・甲友ファミリーをはじめとした皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

特集 先輩に聞く、

憧れの職業への道

就職活動もいよいよ本番。これから自分の目指す将来を実現していくためには、在学中にどんな努力を行い、何を身につけることが必要でしょうか。今回は、キャビンアテンダント、経営コンサルタント、編集者など、学生に人気の高い職業に就いて活躍される卒業生をレポート。同じ道を目指す学生のために、実体験に基づいたアドバイスをいただきました。



参考: 投票! 就職活動ランキング  
http://www.sol.dti.ne.jp/watsushi/syushoku-rank-top.htm  
DISCO http://www.hr-plaza.com/database/

憧れるだけでなく、現場をしっかりと見つめてください



キャビンアテンダント  
大手航空会社 鎌田 香子さん 03年経営学部卒



1 鎌田さんが歩んだキャビンアテンダントへの道

1 TOEICを目標とした語学学習など、夢の実現に向けた講義を履修。スキルアップを徹底する。

2 空港でのインターンシップではトラブルに遭遇。現場のナマの緊迫感を体感し、志を新たにする。

3 キャビンアテンダントとして航空会社に入社。国内線業務を行い、全国を飛び回る毎日を送っている。

キャビンアテンダントは人気が高く狭き門。でも私は「ついてもなりたくて、大学在学中からつねに努力を続けてきました。具体的に取り組んできたことは、まず英語力の強化。TOEICの高得点を目指して頑張りました。また、姿勢や立ち居振る舞いなども重視されると聞いたので、友だちに見てもらいながら練習したり(笑)。いま考えると、中でも貴重な体験だったと思うのは経営学部のOCAプログラムで、インターンシップ制度を通じ、航空会社の業務を体験できたこと。現場の雰囲気を知らたくて参加したのですが、偶然にも突然案内カウンターのコンピュータがシステムダウンするというトラブルが起きました。非常事態に雖然とする空港の中で、テキパキと行動するグラウンドスタッフの皆さんの強さを目の当たりにしてからは、単に華やかな職業ではないのだという思いを強くしました。念願叶った

て国内線のキャビンアテンダントとなりたい。現場で感じるのはやはりそのこと。お客様を機内にお迎えして、すぐに座席を案内し、手荷物を収め、飲物のサービスを行う。約1時間程度でこれだけのことを涼しい顔をして行うわけですから、お客様目の届かないところなんて戦場ですよ(笑)。日によっては東京や大阪を経由し、北海道から沖縄までを縦断するフライトスケジュールもあり、まさに体力勝負です。また今後は機内アナウンスのレベルテストにパスして、国際線に挑戦していきたいとも考えています。決してラクではないので、この職業を目指すなら、ただ憧れるだけではなく、まずはしっかりと目的意識を持つこと。それからいろいろな人や出来事に触れ、自分のキャパシティを大きく伸ばしてください。さまざまなことが起こる現場でその経験がきつと役立つと思います。

誌面だけをフィールドにしないそれが、これからの編集者だ



編集者(編集長)  
株式会社マガジンハウス 吉村 司さん 84年経営学部卒

東京に本社を持つマガジンハウスが関西でハナコウエストを創刊したのがおよそ13年前。当時私は関西の外部スタッフのライターとして同社の雑誌づくりに携わっており、その縁で編集部の上り上げメンバーに参加しました。雑誌の出版というのは東京の一極集中ですから、関西で雑誌編集に携われるというのは非常に希なこと。話を聞いたときはこれまでにない、とこの関西にこだわった誌面をつつてやろうと意気込み、二つ返事で引き受けました。いまは編集長を務めていますが、自分としては「編集者」として動き回っている方が性に合っていますね(笑)。編集者という職業は、資格を取ったり、知識を積み上げたりすれば、誰でも務まるというものではないですね。むしろ、大切なはその人のポテンシャル、街の情報誌の編集に携わるなら、どれだけ街を歩いているか。その中

で面白いと思つものをどれだけピックアップできるか。つねに流行を先取るアンテナを張っていかれるか。いつも人と違うことをしようとする気持が重要です。甲南の学生は本来そうした資質を備えているので、個人的には編集者向きではないかと期待しています。また、いまは雑誌の形態も大きく変わってきました。とくにWebの雑誌をどうやって展開していくかが、これからの編集者の課題でしょう。例えば、私たちの雑誌では、無料会員登録のサイト「hanakowest-cafe.com」を立ち上げて、雑誌でこのサイトを案内。訪れた人には試食会などおトクな情報を発信し、そこで集めた情報はまた雑誌づくりに生かすといった具合に展開しています。こんなふうに誌面を超えて発信するのが面白いという人ぜひ新しい編集者として新しい雑誌を生み出してください。

1 吉村さんが歩んだ編集者への道

2 3年でノウハウを身につけて退社し、フリーのライターとしてさまざまな雑誌づくりに携わる。

3 ハナコウエスト創刊時に立ち上げメンバーとなり、現在は編集長として雑誌を統括する。

1 卒業後は朝日ファミリーニュース社に就職し、ライターに。毎日が締め切りのハードな日々を過ごす。



経営コンサルタントと言えは、企業の抱える経営上の問題を発見し、解決するために知恵を絞る外部ブレーン。ささかしのイメージ的な知的職種と思われるかも知れませんが、実際の現場は必ずしもそうではありません。私はオートバイ、自転車業界を中心に流通業小売店のコンサルティングを行っており、そこでは経営戦略を練って提案するだけでなく、売場の商品を考えたり、チラシやPOPを手配するのも全部自分です。どうですか？現場ベタベタの世界でしょ(笑)。結局私たちが何かモノを売って終わりではなく、顧客とパートナーシップを組んで、相手に利益を上げさせ、信頼を培っていく職業です。だから「いつまで終わる」という線がありません。真剣に取り組むほど、「何でも屋」的にどんな細部までサポートすることになり、夜も眠れなくなっていくわけです。ですから、将来コンサルタントを目指す人がいたら、まず、その泥臭い部分を知っておいて欲

## 生半可な知識は要らない 現場主義に徹する意識を持とう

不破さんが歩んだ  
経営  
コンサルタント  
への道

1 「社会が見渡せる仕事に就こう」と一念発起し、前職の商社を退社して船井総合研究所に。

2 新人時代はできることがないが、とにかく現場に出た。顧客の家具屋で人夫をこなしたことも。

3 現在は12年来付き合いのある企業をはじめ、流通業約20社のコンサルティングを務める。



株式会社船井総合研究所 不破 誠さん 87年経済学部卒

しいですね。それから経営の知識にこだわり過ぎるのはよくありません。生半可な知識を持つと、顧客の置かれている状況をよく見もせずに、小手先のテクニックだけで結論を出してしまうんです。むしろ、相手の話の中から課題の本質を見つめる分析力やそれに対してさまざまな方法を考えられる柔軟性を伸ばして欲しいと思います。私自身、入社前はどこに勉強しなくていいと言われてました。入社してから先輩の支援に同行させてもらって顧客の話や現場の中で一つひとつできることを伸ばしていったという感じです。逆に学生時代はよく遊びました(笑)。水泳部のハードな練習をこなしてから夜遅くまで遊んでいたおかげで、私はいまも1日48時間までOK。このタンクも、私の大きな武器になっています。



商社マン

三菱商事株式会社 藤井 淳さん 90年法学部卒



## 早め早めに将来を準備しよう 誰も目的なしには進めない

藤井さんが歩んだ  
商社マン  
への道

2 エネルギー事業グループに所属し、地道な努力と柔軟な発想で実績を積み、10年後には戦略部門に。

3 現在はイランの首都テヘランに在駐し、現地プロジェクトの開発や情報収集を行う日々。

1 さまざまな国を相手に仕事をしたと考えると、商社を志望。就職活動で三菱商事社員に触れ、憧れる。

私は入社時、希望叶ってエネルギー事業グループの所属となりました。駆け出しは石油化学コンビナート向けの燃料販売です。毎週工場を訪れてはボーラーやタービンが唸りをあげている場所で現場の技術者と面談しながら情報収集を行い、東京に戻ってはその工場の本社と商談を行うという地道な「ドゥ」板営業の日々でした。取引先との商談では上司に相談する暇もありませんので本質と状況を考えて自分で、即断即決し責任は自分で取るという場面がほとんどでした。もともと、レールの引かれた仕事はしんどいと考えていましたから、想像以上に若手に権限委譲されているのが社員のスタイルが肌に合ったのでしよう。その後は入社5年目のベトナムや中東での長期業務研修を経てアジアを中心とした海外事業投資業務を担当。入社10年目にはいままでの営業実績と事業投資経験が認められたのか、

CEO直轄組織の戦略部門に異動。現在はわが社重点市場であるイラン駐在となり、LNGなどのプロジェクト開発と本邦向けの原油・LPGなどの輸入調達業務を担当しています。また駐在員の役割の一つは、「わが社の事業機会とリスクを見極めるために駐在国の潜在的な趨勢と事象を絶えず発掘・注視・分析し、本社に最前線の情報を報告すること」です。そのため毎日「イラン」関連の報道には全て目を通し、さまざまな現地の方と会って情報の真偽の確認と共にその背後にあるものを探っています。学生の皆さんにお伝えしたいことは、早いうちから自分の一番好きなこと、興味のあることは何かを知り、将来、どんな自分になりたいのかを明確にすることです。そうすれば、いま何をすべきかが見えてくる。「チャンスは準備のない者を助けない」。私の好きな言葉を贈ります。それではいつか海外のどこかで会いましょう！

## 飽くなき探究心が、 新しいサービスを生み出す



株式会社NTTドコモ関西 高橋 美保さん

92年理学部卒  
94年大学院自然科学研究科  
修士課程修了

2 新しいサービスを生み出す現場への興味から、NTTドコモのサービス開発部へ。

3 ドコモ関西で、サービス開発部、営業企画部を経てモバイルマルチメディア推進部に、モバイルマルチメディア利用の普及・促進に奮闘中!

高橋さんが歩んだ  
エンジニア  
への道

1 「モノづくりが好き」と面接時にアピール。設備企画担当で設備インフラの構築計画に取り組む。

私がNTTドコモ関西に入社したのは10年前のこと。当時はまだ携帯電話がめずらしい時代で、会社もあまり知られていませんでした。私が弊社を選んだのもブランドではなく、会社を訪問した時に感じたさくばらんな明るい社風が決め手でした。入社して設備部で通信サービスを支えるインフラ設備の企画に携わりながら、新しいサービスはどのように生まれるんだろうという好奇心が湧いてきました。上司にその気持ちを伝えたところ、興味があるならNTTドコモで勉強して「い」といっていいことになり、配属されたNTTドコモのサービス開発部。ここではビジネス部門の要望を把握しつつ新しいサービスの仕組みを考え、研究開発部に伝えるのが仕事でした。どうすればお客様が使いやすい便利なサービスを提供できるのか、ビジネス部門と研究開発部門と試行錯誤を繰り返しながらも、検討を重ねました。

サービスをお客様へ提供することができた時は本当に嬉しかったことを覚えています。その後「ドコモ関西」に戻り、サービス開発部で販売促進用のコンテンツなどの開発、営業企画部で営業コンサルティングの普及拡大に携わりながら、新しいサービスを生み出すにはお客様の立場・気持ちに立つて「T」ズを突き詰めていく探究心が不可欠という気持ちを、ますます強くしました。現在は、モバイルマルチメディア推進部でPDAなどのモバイル商品を用いた「T」通信のお問合せ窓口に関する業務を行っています。いつか「ドコモ」に続くような魅力的なサービスをお客様に提供したいという思いを胸にお客様の声を収集・分析し、アイデアの検討に取り組んでいます。自由で明るい校風で何かに一生懸命に熱中している、探究心旺盛な甲南生を心よりお待ちしております。ぜひ一緒に仕事しましょう。



教員

姫路市立飾磨高等学校 半田 真美さん 95年文学部卒

## 教師に教科書はない、柔軟さをもって挑んでください

半田さんが歩んだ  
英語教員  
への道

2 卒業後は、念願叶って英語教師に。姫路市立飾磨高等学校に勤務する。

3 9年目を迎え、現在は3年生の担任をしている。リーディング・ライティングを担当。個別指導にも尽力。

1 英語教師の夢を抱いて文学部へ。語学学習に努力し、教育実習では改めてやりがいを見つける。

この学校で教職に就いて9年目になります。赴任当初は、英語のリーディングとオーラルコミュニケーションだけを教えていたのが現在では、3年生の担任で、リーディング、ライティングを指導しています。いま職場で私が実感するのは、教師の役割ってホントに際限がないということです。教職を目指して勉強していた大学時代や勤め始めた頃はとにかく英語をわかりやすく教えていくことを目指し、授業内容や指導方法などを一生懸命勉強しましたが、担任を持つようになったら、それだけでは通用しないことを痛感しています。例えば、就職や推薦入試に備えて作文や面接の指導を行っています。また、成長期にある子どもたちは誰でも悩みを抱えていますから、生徒たち一人ひとりの相談事に耳を傾けたり、実際に体験することができるとさまざまな活動を奨めてみたり、一人ひとりに適したケアも必要です。そうなるべくも

こうすればいいなんて教科書はどこにもない。毎日が体当たり勝負という感じ(笑)。とくにいまは少子化にともなう家庭環境が変わり、子どもの心理もいままでの常識だけで判断できなくなってきました。これからの教師には、生徒一人ひとりの個性に合わせた柔軟な指導が必要なのかも知れませんが、いまから教職を目指すという人にとっては不安な話ばかりしてしまいましたが、やりがい・充実感を大いに感じられる職業でもあるんですよ。例えば、一生懸命見守った生徒が紆余曲折を経て「ゴール」に至ることができたときには最高にうれしいものです。また、現場でどうしたらいいかわからないときは、甲南での学校生活を思い浮かべてみたらどうでしょうか。広い知識や教養を備えながらも、いつも同じ目線で丁寧に対応して下さった先生方の姿勢には私自身、学ぶことが多かったように思います。

# Variation of Family

## 野々山先生の研究を読み解くキーワード

### 家族ライフスタイル

家族という単位でライフスタイルの変化をとらえる考え方。核家族化が始まってから20年後、家族が多様化し始め、こうした概念が用いられるようになった。

### 子育ての囲い込み化現象

これまでは多くの人の関わりによって行われていた子育てが、母親一人の役目になりつつある現象。育児ノイロ一ゼなどの原因となっている。

### 家庭問題研究所

家族の動態、家庭の機能・役割、家族と社会との関係などについて実証的・体系的な調査研究を行うシンクタンク。現代家族の課題とあり方を考察し、その成果を用いた政策提言を行っている。

「こうした研究を組織的により深く行うっていくため、野々山教授は兵庫県の研究機関「家庭問題研究所」の所長も務めている。ここでは数々の研究者と共に、毎年県から依頼されたいくつもの

家庭問題研究所の所長として、広く提言できる研究を推進

から、ノイロ一ゼの母親が増えるのは無理もないことである。さらに野々山教授はこう続ける。「一方で、子どもの道徳観が低下しているなどの変化を受け、家庭教育力をどう高めるかといったことが議論されていますが、私はこれは本末転倒だと思っています。本来教育の場であった家庭にまで教育を持ち込むから、いま子どもがおかしくなっている。ホントはもっと親が子どもと一緒に遊んだ方がいいんです。さらに言えば、兄弟が一緒に遊んだ方がいい。子どもは誰かの面倒を見ること、自然に社会性を培っていくものだから。ただし、いまは少子化で兄弟や近所の子どもが少なくなっているから、大きい子が小さい子の面倒を見る「社会的おにいちゃん」をどうつくり出すかが行政の課題だと思いますね」

テーマについて、実証的・体系的な調査研究を展開。2003年度は、「少子化への取り組みに関する青少年意識に関する調査研究」、ターミナルケアと生死観に関する調査研究」、成人期における親子関係に関する調査研究」の3つが進められている。「この研究機関はスタッフも優秀な方が多く、作成された報告書は、さまざまな学術書に広く引用されるなど、高い評価を得ています。研究実績について国連から表彰を受けたこともあるんですよ。また、この家庭問題の研究においては、国の専門機関というものが存在しないですね。ですから私たちは単に「地域の研究機関として役割を担うだけでなく、全国の行政に対して影響を及ぼすような研究を行っていくたい。とくに兵庫県という土地は、都市部があり、農村部があり、海があり、山があり、さまざまなライフスタイルを研究できる場所。ここから日本を広く見渡すことができると思っています」

「このほかにも結婚について、農村部の男性と都市部の女性の意識を考察し、接点を設ける。この「とり会」など、野々山教授の研究の場は幅広く、意欲的な。今後ますます社会の問題点を明らかにしていく教授の活動は、ますます広がりを見せていくに違いありません」

先生、知の最前線を教えてください！

## 研究室訪問

今回のテーマは...

### 家族変動の分析

# いま、家族に何が起きている？

社会の仕組みが変わり、家族に大きな変化が訪れている

幼児虐待、少年犯罪の頻発などにより、近年、家族の抱える問題が顕著にクローズアップされるようになってきた。ごく普通の家庭がある日突然破綻してしまったり。その原因は、いったいどこに潜んでいるのだろうか。家族ライフスタイルの変化などを追究されている野々山教授に現代家族の問題について尋ねてみた。「家族の問題が難しいのは、まずそこで見えていない部分がある。日常的であるため、非常に見えにくいということなんです。問題視する声が大きくなってきていますが、一般の家庭では、まさか自分の家族に問題が潜んでいるなど考えもしない。騒がれているのは、どこか

の特別な家族のことだと思われているのです。しかし、結論から言えば、いまは家族を取り巻く社会の仕組みそのものが変わってきていますから、その歪みは大なり小なりどの家族にも起こっていることなんです」と教授は言い切る。「私はそういう現状を客観的なデータを集めて分析し、警鐘を鳴らしていきたいと考えています」

### 子育ての具体例から、いまの家族の問題にアプローチ

では具体的に、現代の家族にはどのような変化が起きているのだろうか。例えば、子育てを考へてもらうといい。実は「育児」という言葉が使われ始めたのは戦後のことなんです。それまでは「子育て」と言っていたんです。「このことから想像がつくように、以前の家族では、子どもは父母だけでなく、祖父母、親戚や近所の人まで加わって、みんなで育てるといつのが共通認識でした。それがいまは核家族化などにより、母親一人で「子育て」しているものだから、大きな負担のしかかり、いろいろな問題を起している。私はこれを「子育ての囲い込み化現象」と呼んでいます。しかも具合が悪いことに、誰もその変化に気が付かない。娘をしっかりとつけられない母親に夫の母が、「あなたはこうしてそうなの。私なんて、5人も立派に育てたよ」と小言を言いますが、実は、決して一人で育てたわけではないんです」

教授の調査によれば、いまの母親はこうした背景から、育児に対する不安が募り、自分の自由な時間を持ちたい、「夫が理解してくれない」といった不満を抱えている。また家族全員や地域で育てていた時代には、「ほらほら主義」だった子育てに対し、完璧に育てなければならぬという強い強迫観念を持っているという。加えて、子育てに参加しない夫ほど、妻に完璧な子育てを求めなどの調査結果も明らかにされているという



文学部社会学科 野々山 久也 教授



家族の「遊び力」  
変わりゆく家族と子育てのはなし  
野々山 久也 著  
ミネルヴァ書房 ¥2,000(税別)

1942年、愛知県生まれ。大阪市立大学大学院生活科学研究科修士課程修了。1989年より甲南大学に在籍し、家族社会学や生活福祉学などを研究対象とする。(財)21世紀ヒューマンケア研究機構家庭問題研究所所長を兼任。日本家族社会学会理事、関西社会学会理事。単著や編著および論文は多数。3冊目の単著である『家族の「遊び力」』を2003年9月に出版。

## 野々山教授について教えてください

先生は人の意見を大事にされる方  
活動しやすい場をつくってくださいます



家庭問題研究所  
主任研究員  
プール学院短期大学講師  
河野 由美さん

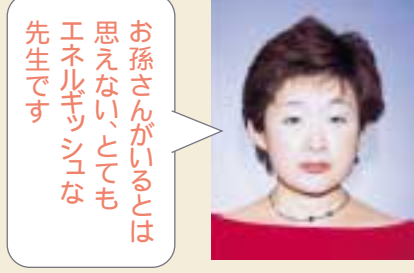
非常勤の研究員として、家庭問題研究所で野々山教授と研究活動を一緒にさせていただいています。現在私が進めているのは、ターミナルケアと家族に関する調査ですね。野々山先生は最初、とても厳しい印象でしたが、実はとても気配りの上手な方。ミーティングの場でも、私たち新任の研究員が発言しやすいようにジョークを場をなごませてくださったりしています。また、人の意見をとても大切にされるので、当研究所は私にとってとても活動しやすい場となっています。

大学院修士課程から先生にお世話になっており、大学院のゼミでは家族社会学のさまざまな理論について学びました。先生はつねにいくつもの調査研究プロジェクトに従事されていたので、先生のそばにいて、調査やデータ分析を直に体験することができ、とても貴重な経験を積ませてもらいました。ところで、私も研究者としてレベルを上げたつもりですが、いつも話しているうちに浪花節のように引き込んでいく先生の求心力、あれだけはなかなかマネすることができません。



島根大学法文学部社会システム学科専任講師  
片岡 佳美さん  
99年人文科学研究科応用社会学専攻博士後期課程修了

浪花節のように人を引き込む求心力  
これだけは、いつまで経ってもマネできない



関西国際大学人間学部助教授 清水 美知子さん  
89年人文科学研究科応用社会学専攻博士後期課程修了

先生が甲南大学に着任されたとき、私は人文科学研究科応用社会学専攻の学生でした。それから家庭問題研究所での3年間を含め、15年来のお付き合いになります。先生の印象を一言で言えば、「万年青年」でしょうか。家庭問題研究所に勤めていた頃にも、こんなエピソードが。外部の研究者をお招きした研究会の場で、会場を懇親会にセッティングし直す際、所長である先生が率先してイスを並べるので周りは大慌て。でも、フットワークが軽く、偉ぶらないところは先生の大きな魅力です。

お孫さんがいるとは思えない、とてもエネルギーッシュな先生です

今回は理工学部太田雅久教授の研究室を訪問します。

# 気になる学内のスポット探訪

「食堂の下にいるコピーのおばちゃんはいったい誰?」  
「起業家研究会ってどこで活動しているの?」  
「ガス灯があるって聞いたけど、どこにあるの?」...。  
皆さんが普段から甲南キャンパスに抱いているさまざまな疑問、不思議をここで一挙に解決します。



学内には意外と不思議なところがあるんです

私たちが案内します!

ナビゲーター 経営学部3年次 井上 真希さん

ナビゲーター 経営学部2年次 伊達 康一さん

意外と知られていない噴水  
結構歴史があるみたいですよ

## 1 グラウンド北の噴水

グラウンドの北側にある噴水は旧制時代からのもの。また、まわりにひろがるビオトープ野生の植物や生き物が生息する水辺は、学生も参加して造られたもので、ランタナ、タイムなどが植わる、香りの古径をはじめ、さまざまなテーマの散策が楽しめます。

大学内発電所が  
5号館の屋上に!

## 2 太陽光発電システム

5号館では地球にやさしい、無限でクリーンな太陽光を利用した太陽光発電システムを取り入れ、環境保護の啓発や、次世代を担う学生の教材として活用しています。



キャンパス内のガス灯には  
実は本物と偽物があるのです

## 3 ガス灯

正門から3号館へ続く道脇にある灯りは、実は電気灯。5号館と10号館の間にあるこの2つの灯りのみがガス灯で、優美な雰囲気を出しています。夜は、二人の世界にロマンティック!!



アレ? 植え込みが  
甲南のロゴマークになっている!?

## 4 5号館植木

高い窓から眺めないと気がつかないけれど、5号館と10号館の間にある植木は、学園のロゴマークのかたちになっています。5号館の各階にある西向きのローリーからチェックしてみてください。



ん? 生協の隣にも  
もう一つお店が...??

## 9 文具店

大学生協とは別に設置されている、小さな文具店。学生から、「「1」のおばちゃん」と呼ばれて親しまれている武智さんは、なんと大学開校2年目からここに店を構えているのが...

武智さんがコピーを手伝ってくれます



自然を生かすキャンパスでは  
建物も緑をよけて建築される!?

## 7 2号館の凹み

ちょうど気になる2号館の不思議な凹み。2号館が建てられたとき、すでに大きく茂っていた木を切り取らないで守ろうと、建物の壁を凹ませました。



研究室を訪れるとき、  
目をひく巨大地図

## 6 9号館地図

オランダの地理学者で数学者でもあるオルテルリウス(1570~1646年)が編んだ、53葉の地図を含む世界地図帳「THEATRVM ORBIS TERRARVM 1574 Antverpiae」から抜粋したものの、原版の銅版刷をマージンレスシートにフィルムを「テリング」して仕上げられています。



環境意識の高まりは「J」でもわかる  
生「ミ」乾燥機」e「ドライ」

## 8 生「ミ」処理機(生協)

今年7月から生協横で活躍している生「ミ」乾燥機「e「ドライ」」。食堂で出た残飯や生「ミ」を約12時間かけて乾燥させると、重さで1/3〜1/10も減らすことが可能です。処理後の「ミ」は堆肥として利用されます。



7月3日 投入  
7月4日 排出

これはどう読むの?!

## 11 荒勝文策先生の文字(学館南)

学生会館東南の芝生の中に、石に彫られた文字があります。これは、初代学長荒勝文策先生の書で「流水和道」(一)如(と書かれており、昭和44年、学生会館の建設に伴い、現在の出合いの広場にあつたものを移設しています。





ハガキで寄せられた疑問を徹底調査

# こちら甲南特捜部

今回の調査依頼

お便りで届いた皆さまの疑問を、毎回、徹底調査していくこのページ。今回は甲南大学の設備・システムなどの費用を調べました。何気ない設備にも結構コストがかかっているの、皆さん驚かれるのではないのでしょうか。とくに現役生の方、これを知ってからはさらに設備を、有効利用するよう心掛けてくださいな。

大切に利用しましょう

## 調査1

### 充実しているとウワサの5号館、6号館の設備・システムはいくら？

新設された5号館・6号館では、最新のマルチメディア設備を完備しています。例えば、一見普通の机でも、ノートパソコンを接続できる情報コンセントなどの機能があり、コストも相応。6号館では教室全体のシステム価格を表示しました。これだけの充実した設備が身近にあるのだから、現役生の人は積極的に使ってくださいな。

5号館

511講義室

3人用椅子付き机 (情報コンセント・電源付き)  
¥187,000.

サイバーライブラリ

ガラス付き閲覧テーブル (情報コンセント・電源付き)  
¥264,000.

自由利用パソコン室

楕円パソコンテーブル  
¥396,000.

### 甲南大学の設備にはどれだけ費用がかかっているの？

## 調査2

### 新設されたトレーニングルーム 一体、いくらかかっている？

5月に本校舎運動部室に新設されたトレーニングルームには、20台を超える最新マシン設備が充実。一体、いくらかかっているのでしょうか。また、授業やクラブだけでなく、学部生・大学院生なら無料で利用できるのをごんごんと申し出て下さい。



サイフィットクライマー  
¥318,500. × 2台

エアロバイク  
¥235,200. × 5台

背もたれ付きエアロバイク  
¥259,700. × 2台

トレーニングルームの利用について

事前に「トレーニングルームを安全に利用するための講習会」を受講して、利用者証を必ず取得しなければなりません。講習会は定期的に行っていますのでお問い合わせください。

利用日時  
平日15:00～20:00 土曜13:00～18:00  
春・夏・冬期休業期間中13:00～18:00  
(お盆休み・年末年始は休業)  
問い合わせ先 学生部

サイフィットトレッドミル  
¥578,200. × 3台

レッグプレス  
¥830,000. × 1台

## 調査3

### 甲南大学の光熱費(一年分)は一般家庭とどれだけ違う？

意外に見逃しがないのが大学のランニングコスト。約1万人の学生・教員が活動しているわけですからかなりの額には違いないけれど、実際どれだけ違うのか。家庭の光熱費と比較してみました。

電気代  
約1,791倍

一般家庭平均  
¥111,284.  
甲南大学  
¥199,305,290.

最大月(7月) 最小月(12月)  
¥20,619,365. ¥13,953,371.

ガス代  
約467倍

一般家庭平均  
¥68,926.  
甲南大学  
¥32,186,622.

最大月(2月) 最小月(5月)  
¥4,913,919. ¥940,155.

水道代  
約1,002倍

一般家庭平均  
¥58,391.  
甲南大学  
¥58,520,871.

家庭の光熱費は、平成14年度「家庭調査年報」(総務省統計局調べ)より

## 6号館

CALL教室  
教育研究システム  
¥35,605,142.

マルチメディア教室  
教育研究システム  
約¥13,000,000.

### 誌面作りに対する「ご意見・ご感想」

新しくできたEBA総合コースに興味があったので特集の「オンラインへの挑戦」が面白かった。サポート施設の写真が載っており、柏井さんの体験談が詳しく載っていたのが良かったと思います。(80年卒・男)

あらゆる領域で甲南の改革を推進し、個性尊重のユークな学園をつくるキーワードとして、特集の「オンラインへの挑戦」はよい言葉ではないかと思いつつ読みました。このような特集だけでなく、学生を取り込んだ学園の取り組みとしてぜひ進めていただきたい。(66年卒・男)

オンラインへの挑戦がとても興味深かった。あくまで自分を実現しようとする姿に感動しました。(61年卒・男)

最近の学生に不足している自己実現するために真剣に行動している甲南生を見、自分のことをもう一度見つめ直す必要性を感じた。甲南の公開講座に関する情報も教えて下さい。(72年卒・男)

以前、企業の企画調査部門で生産販売計画のための市場・経済予測の仕事をしていたので稲田先生の研究内容が興味深かった。(不明)

3年次の娘が稲田先生の講義についてよく話してくれましたが、この記事を見て改めて娘は素晴らしい先生に出会えたものだと実感、感謝しています。(学生・生徒のこ父母)

時代は多国語を必要としています。甲南生が世界に躍動するため、キャンパスガイドで紹介されていた6号館を十分に生かせるようお願いいたします。(学生・生徒のこ父母)

こちら甲南特捜部がお気に入りです。身近な疑問に専門の先生方が丁寧に答えてくださっていて、頭が下がる思いがします。ほかにも、研究室訪問などを楽しみにしていますので、次号の予告などをしても構いません。(80年卒・男)

グローバル化が進んでいるにもかかわらず、海外で活躍される方の取材をシリーズ化して欲しい。甲南健児ここにありと海外で活躍される姿が私たちの大いなる刺激となること(88年卒・男)

あなたの声で、このページを、つくりませんか？

「こちら甲南特捜部」は皆さまのお便りをもとに構成するページです。日頃から甲南大学に対して感じている疑問を、どしどしお寄せください。また、誌面作りに対するご意見・ご感想もお待ちしています。



部員一人ひとりの映画批評を綴った「エクリン」



阪神4大戦(2003年10月19日)

第36回関西I.C二部優勝(1959年)



秩父宮賜杯

甲南の陸上は団体競技  
想いをつなぎ、勝利をつかむ

陸上競技部の歴史は、「旧制高校リレー大会」の活躍を抜きには語れない。学校が創設されたばかりの当時、「高校として認められない」と一旦参加を断られてしまったが、これに発奮した部員たちはバトンタッチに焦点を絞り、全員一丸で猛練習。400mリレーで強豪をねじ伏せ、優勝を勝ち取ってしまった。周囲をマツと言わせ、全国に甲南を知らしめた彼らの気概は、その後インターハイ優勝の偉業を経て、今日までなお脈々と受け継がれている。

56年卒の山本さん(大学初代主将)、池上さん(初代主務)たちは、開学したばかりの新制甲南大学陸上競技部の立ち上げに尽力。部員集め、トレーニングシステムの確立に、予算取りの厳しい中で旧制OB宅を回っての活動資金集めに奔走した。翌53年には14名の部員がそろい、インターカレッジ2部で6位の成績を残し、秩父宮杯を賜っている学習院大との対校定期戦を実現するなど、部としてカタチが整ってきたと言った。

より強い陸上競技部をつくらんと本格的な取り組みをはじめたのが、60年卒の堀江さんたち。当時2部で足踏みしていた部を、1部に引き上げるため、まず選手の勧誘からはじめ、次に3年がかりの青写真を描いた。「具体的な活動としては、まず合宿に力を入れました。特定の個人だけが強くてダメ。チームとしての強さを磨く必要があると判断したのです」と言った。合宿先の長崎では、それこそ倒れるまで練習したそうだが、このとき全員が部の方針と伝統をしかりと感じ取った。そして59年、彼らは一つの悲願を果たす。インターカレッジ2部で優勝し、1部に昇格。しかしそれは新たな挑戦の幕開けでしかなかった。

「堀江さんたちが築いた強さを守ることに必死だった」と語るのは、66年卒の西さん。強い選手が集まり、しかもチームとしてまとまった時期がしばらくは続いたが、西さんが3年次のとき、甲南は無念の降格。しかし、そのままでは終わらない。関西学生駅伝で発奮し、1部校をこぼす抜き、4位に食い込むという活躍を見せた。以後、甲南は1部と2部を幾度となく行き来する。現チームの総監督を務める79年卒の横部さんは「このような状況からの脱皮を志した一人。それまで陸上競技部は王子競技場などに通って練習を行っていたが、大学内のトラックを自分たちで整備するなど、部員の結束と士気高揚に工夫を凝らした。82年卒の堀さんの頃、六甲アイランドにグラウンドが新設され、志気はさらに高まりを見せる。93年卒の日野さんは卒業後のある年、元日に学校を訪れたら練習している後輩がいて驚いたという。口では「バカだな」と言いますが、近い将来、このチームはきつと強くなると思いました。また、98年卒の米川さんは、昼休みから陸上部員は全員ジャージを着ていました。放課後に即練習に取り組みるようです」と当時の雰囲気語る。陸上は個人種目と考えがちだが、甲南では全部員一丸のチームワークでつねに上を目指し続ける姿勢がいつもそこにある。池上さん、豊田洋さん、白石さん、西さんなど優秀なメンバーがこれを支えた。

女子200mの日本レコードホルダーで、日本選手権の女子100m、200mを6連覇中というOG、新井初佳さんの活躍をはじめ、1000m日本レコードホルダーの伊東浩司先生を迎えたことなど、いま甲南の陸上競技部には明るい話題が多い。現役生たちは「今期は僅差で敗れたけれど、僕たちはこの冬にもっと力をつけ、団結力で1部リーグを目指します」と力強く語っている。先輩の想いを受け継ぎ、どんな潜在力を発揮するかが、いま彼らの活躍に注目したい。

【創部】1923年  
【部員数】46人(2003年11月現在)  
【主な実績】  
旧制甲南高等学校陸上競技部創部  
新制甲南大学陸上競技部創部  
他部に先駆け学習院大学定期戦開始  
大幡嘉寿が槍投で当年全日本第3位達成  
関西I.C二部優勝(一部昇格、対学習院戦秩父宮賜杯授かる)  
関西I.C二部優勝(一部昇格、関西学生駅伝5位入賞)  
関西I.C二部初残留  
関西I.C二部2位(一部昇格、関西学生駅伝4位入賞)  
関西I.C二部3位、繰り上げ一部昇格  
山口、木庭、小川を擁し、短距離中心の第2次全盛期  
1970年日本選手権400m(継走2位入賞、田中・宮崎・山口、木庭)  
翌年日本選手権400m(継走3位入賞、田中・小川・山口、木庭)  
一部低迷  
部内意識高揚が進む  
関西I.C二部2位(一部昇格)  
豊田、木村、安室を擁し、フィールド中心の第1次全盛期  
大島直子、松井久美子で女子選手黎明期  
1992年 女子西脇通代台頭により女子の全国クラス仲間入り  
1993年 I.Cにて、女子100m西脇通代3位、新井初佳6位入賞  
1994年 関西I.C二部2位(一部昇格)  
1997年 関西I.C二部2位(一部昇格)  
1998年 関西I.C女子走高跳青山幸四連覇  
1999年 関西I.C二部優勝(一部昇格)  
2002年 全日本I.C、女子走高跳福山茜6位入賞  
2003年 日本選手権にて、女子1600m(継走4位入賞、杉山・横溝、股生・鈴木)

日本映画の黄金時代は、50年から58年頃。58年の記録を見ると、人口が9千万人程度の当時に、のべ11億3千万人が映画館に足を運んだという。甲南大学の映画研究部はこの空前の映画ブームの最中、53年に誕生した。

57年卒の永井さんは発足当時をこう懐かしむ。「あの頃は娯楽らしい娯楽がなく、銀幕の世界に夢中になった。見るだけでは飽きたらず、部活動を発足して仲間を集め、あれこれ語り合っていたのです」。当時の部員数は15、20名程度。映画談義のみならず、部員の映画批評を綴った部誌「エクリン」を発行し、部外の人や神戸の学生映画連盟にも配付していたという。62年卒の片岡さんの頃には映写会も行っている。「映写機は映写機操作免許さえ取れば当時アメリカ文化センターで貸し出してくれた。それを担いで小豆島にわたり、2泊3日で短編映画を上映しました」。多くの人に映画を見て欲しい。その思いが片岡さんたちを突き動かしたのだ。

60年代、テレビの普及とともに、映画人口は減少の一途を辿った。しかし、これが逆に映画ファン独自の世界を形成する契機になる。8ミリや16ミリカメラで自主制作をはじめ、上映も行い出した。いまも続く「美人座」と呼ばれる名作上映会もこの頃から始まった。70年卒の柏木さんの頃も活動は活発で、新たに16ミリフィルムの撮影機材を購入し、作品を一年に一本程度作成して大学祭などで上映していたという。「シナリオから考え、撮影を行って、京都の太秦に1週間くらいカンヅメになって編集しました。当時は全員が表現者として新しい可能性を見つけようと躍起になっていました」と柏木さんはさらりと話すが、当時本の映画を撮るために、80万円程度の資金が必要だったと言いつら傾けた

【創部】1953年  
【部員数】37名(2003年10月現在)  
【主な実績】  
映画研究部創部  
「エクリン」創刊  
「FADER」創刊  
ドキュメンタリーだが初の16ミリ自主制作作品「学生」を大学祭で上映  
自主制作作品「学生」を大学祭で上映  
16ミリ映画として初の自主制作作品「永い間の中で」を大学祭で上映(以降、原則として毎年大学祭で自主制作作品年表中の作品を上映する)  
「Oの闘争」  
16ミリ作品の「キャンパス」とも「自主制作」8ミリ作品を併せて上映、「甲南の闘争」モダンスタイルで上映  
「Oの闘争」  
「青春情死考・なみだ恋」  
「カオスかいつ」  
「虚空遊戯」  
「失楽園」道「街」8ミリでの制作が主体になる  
制作を担った男  
「風破窓」  
「水・タバコ」  
「裏に忍ぶる林檎たち」  
撰津祭においては商業映画の上映会のみ実施(57まで)  
撰津祭においては自主制作映画の上映のみとなる  
第30回撰津祭で8ミリでも「ビデオ」による自主制作作品も上映  
第1回撰津祭から、上映会場が10号館に移る(以降、ビデオによる制作が中心となる)

映画批評から制作活動へ  
銀幕への情熱が刻む50年



手が集まり、しかもチームとしてまとまった時期がしばらくは続いたが、西さんが3年次のとき、甲南は無念の降格。しかし、そのままでは終わらない。関西学生駅伝で発奮し、1部校をこぼす抜き、4位に食い込むという活躍を見せた。以後、甲南は1部と2部を幾度となく行き来する。現チームの総監督を務める79年卒の横部さんは「このような状況からの脱皮を志した一人。それまで陸上競技部は王子競技場などに通って練習を行っていたが、大学内のトラックを自分たちで整備するなど、部員の結束と士気高揚に工夫を凝らした。82年卒の堀さんの頃、六甲アイランドにグラウンドが新設され、志気はさらに高まりを見せる。93年卒の日野さんは卒業後のある年、元日に学校を訪れたら練習している後輩がいて驚いたという。口では「バカだな」と言いますが、近い将来、このチームはきつと強くなると思いました。また、98年卒の米川さんは、昼休みから陸上部員は全員ジャージを着ていました。放課後に即練習に取り組みるようです」と当時の雰囲気語る。陸上は個人種目と考えがちだが、甲南では全部員一丸のチームワークでつねに上を目指し続ける姿勢がいつもそこにある。池上さん、豊田洋さん、白石さん、西さんなど優秀なメンバーがこれを支えた。

女子200mの日本レコードホルダーで、日本選手権の女子100m、200mを6連覇中というOG、新井初佳さんの活躍をはじめ、1000m日本レコードホルダーの伊東浩司先生を迎えたことなど、いま甲南の陸上競技部には明るい話題が多い。現役生たちは「今期は僅差で敗れたけれど、僕たちはこの冬にもっと力をつけ、団結力で1部リーグを目指します」と力強く語っている。先輩の想いを受け継ぎ、どんな潜在力を発揮するかが、いま彼らの活躍に注目したい。

78年卒の中原さん、西島さんの頃は、すでにKSWLの協力により、無声映画から音声入りの映画づくりが行われていた。81年卒の井上さんたちは、8ミリの新機材を購入して卒業。これにより、84年卒の天津さんたちの頃は、8ミリ映画が年間7、8本撮れるようになった。それまで大きなネックだった「コストが、簡易な8ミリ撮影のおかげで大幅に削減されたのだ。こうして形成された映画研究部の活動は、いつしかK.F.M(Konan Film Making)という名称も得てさらに活発化。その結果、80年代には文化部でも一番広い部室を獲得するほど盛んな活動を行っていた。91年卒の西さんは当時の部の雰囲気をご語る。「いい意味での緊張感がありました。編集ならこの人、録音なら彼、上下級生の別なく役割を担い、さまざまな個性の部員たちが年中熱く映画と向き合っていました。当時すでに媒体としての8ミリフィルムは衰退期を迎えていましたが、なおさら私たちの制作意欲は切実なものになっていったと思います。対外的に実力を認めさせたいという気運も高まり、いくつかのコンテストに出場。シネマ大好きフィルムフェスティバル などに入選を果たした。卒業後、映画・映像の世界に進んだ部員も少なくない。

現在では、フィルムからデジタルビデオへとさらに撮影環境が大きく変わった。現役生は「私たちは機材のおかげで年間20、30本を制作できますが、先輩方の傾けてきた情熱を考えると、もっと質を高めるなど、可能性を探ってきたい」と大いに刺激を受けた様子。技術革新により制作手段は大きく異なるが、映画にかける想いは世代を超えて変わらないのだ。

取材に出席された方/永井隆さん(57理卒)・片岡武蔵さん(62理卒)・柏木登美子さん(旧姓山本、69理卒)・柏木弘さん(70法卒)・中原幸次郎さん(78法卒)・西島豊人さん(78法卒)・井上雅晴さん(81理卒)・天津悟さん(84文卒)・風破窓さん(91理卒)・渡辺律子さん(旧姓佐藤、92理卒)・学生 曾我賢治さん(法3)・吉川智子さん(法3)・豊元徳さん(文3)



広大なりんご園の中、一つひとつ手で収穫していくのは、思っていたよりもずっと重労働。

Paris  
Touraine

フランスにあるという立地条件を生かすさらなる試みとして、地元の職場で1週間研修することによって、より深い地域住民との相互理解を図り、同時に労働の難しさや尊厳を身をもって体験することのできる「地域に学ぶ労働体験(スタージュー)週間」を設けました。

定期テストや研修旅行などの学校行事に支障をきたさない限り、1年中いつでも参加する機会があり、この間の授業は公欠となります。原則として本校入学後1年経った生徒に体験する権利が生まれ、中部および高等部のうちで、それぞれ1年に1回の体験ができ、中部部・高等部あわせて最高5回まで体験できるシステムになっています。活動職種は、下記の通り多岐にわたります。

地域に学ぶ労働体験「スタージュー」  
働くことで地域を  
より深く理解する



自分たちが収穫したブドウがワインになると思うと、いまから楽しみ。

活動職種の例

- ぶどう収穫とワイン作り、チーズ作り、フォアグラ作りなどフランス独自の職種
- 家具職人、楽器職人、人形師などの職人の仕事
- 自動車修理などの工場での仕事
- パティスリー、レストラン、チョコレート屋など飲食業の仕事
- スーパー、ブティック、本屋などの商店の仕事
- 銀行市役所、不動産屋などの事務的な仕事
- 農場、牧場など農業的な仕事
- 博物館、美術館、図書館などの学術関係
- テレビ局、ラジオ局、新聞社などのマスコミ関係の仕事
- 老人ホーム、託児所、病院などの医療・福祉関係の仕事
- 体育館、遊園地、動物園、城などの娯楽施設の仕事
- その他、生徒の希望する職種

いずれの職種においても、サンシール市役所およびアンドル・エ・ロワール県議会から紹介されたリストの中から選択したり、本校教職員および生徒が開拓するものになります。すでに何名かの生徒はブドウやりんごの収穫に参加し、実のある研修を行っています。

スタージュー体験記

ブドウ収穫



ブドウ収穫の喜びと難しさを実感  
高等部2年 網島浩子さん

今回、私はスタージューでブドウ収穫(ヴォンタージュー)を体験しました。3日間だけだったけれど、とてもやりがいがありました。

事前にワイン蔵を見学して、収穫したブドウがどうなるのかも見てきました。今年とれたブドウは来年の6〜8月あたりに出せるようになると思います。私はまだ飲めないで味わうことができないのが残念です。

ブドウ収穫は約10人くらいで行いました。男女ともに半々くらいでした。初日に、かがんでやると腰が痛くなるので、しゃがんでやっていたら膝が痛くなりました。けれど、一緒に作業をしている人と話をしたりしていたら、気にならなくなりました。私はヴォンタージューを体験してとてもよかったです。機会があればまたやりたいです。

りんご収穫



りんご狩りのスタージューに行くと  
中等部3年 橋本誠治くん

ぼくは、2人の友達と3人で10月20日から23日までりんご狩りのスタージュー(研修)に行きました。

1日目、まず、農家のマタムの家に行くと、りんごの取り方、服装などの注意を言われた後、作業に移りました。教えてもらった、手のひらで持つて、握らず、引っぱらずに取る、という事を思い浮かべながら失敗しないように慎重に取っていました。

2日目、3日目となるにつれて、みんなの取るスピードが上がっていききました。しかし、その分ミスも多くなり、マタムに注意されたりもしました。

天気には1日しか恵まれませんでした。とても良いスタージューだったと思います。

情報教育環境

コンピュータをツールとして  
ごく日常的に活用する  
先駆的な教育環境



図書館で本のページをめくりながら、ときどきモバイルPDAをのぞき込んでいる生徒、総合学習の時間に調べた内容をパソコンでグラフィック化していく生徒…甲南高等学校・中学校では、調べものやレポートづくりなどに、ごく日常的にPDAやパソコンを利用する環境があります。2003年度から全国の高等学校に「情報」科目が新設されましたが、本校では、それよりずっと早く、1975年から情報教育をスタートさせてきました。現在は特別な科目の中でPDAの使い方を学ぶだけでなく、総合学習の時間をはじめ、数学、国語、社会、音楽など、一般的な科目の中でPDAやパソコンをツールとして活用し、これからの社会で生きる実践的な活用力を培っています。



情報教育環境づくりの歩み

- 1975 全国の中学校、高等学校に先駆けて、「情報」の選択授業を設置。シャープ製のコンピュータを導入する。
- 1980 コモドール製のコンピュータを導入。
- 1983 情報委員会設置。
- 1984 授業用としてNEC製のコンピュータを導入。
- 1994 選択授業としていた「情報」を高校一年生の必修授業とする。CAI(COMPUTER AIDED INSTRUCTION)教室を設置し、ユーザーインターフェースの良さに定評のあったapple製のコンピュータを導入。
- 1995 阪神大震災発生。仮設教室での授業となるも、コンピュータを移設し、利用環境を維持する。
- 1997 新校舎が完成し、これを契機に、1996年より検討していたインターネット利用が、いよいよスタート。甲南大学と専用線(64Kbps)で接続する。当時の校内LANの通信速度は10Mbps。
- 1999 第2コンピュータ教室を開設。IBM製のPL300を導入する。また、無線LANを図書館と特別教室に敷設。構内のLAN環境が一気に充実した。
- 2000 総合学習や自由な情報の活用のために東芝製のノートPCを導入。CAI教室のコンピュータをapple製のiMacに入れ替え。
- 2001 「学校インターネット3」に選ばれ、県下の私学で唯一、兵庫県に繋がる。
- 2002 校内LANの幹線を1Gbpsに増強。ファイルサーバ、インターネットサーバを補強。
- 2003 高校棟無線LAN化。東芝製のノートPCを追加導入。

生徒たちは、こんな場面でコンピュータを活用しています



LL教室でも、語学学習用のコンピュータが各机に組み込まれています。

**情報活用**  
中学の必修授業。情報収集手段の一つとして、コンピュータを活用。  
E-STUDY(総合学習)  
高校で展開。自分で決めたテーマの情報収集からプレゼンテーションに至るまでフル活用。  
**情報**  
高校一年生の必修授業。週に2時間設けてあり、教科書を中心に展開。高一・三年生でも選択。情報でマルチメディアなどを扱う。  
**数学**  
数式処理ソフトを使って、公式を導くなど、これまでできなかった実験的・発見的学習を促進。  
**英語**  
撮影してきたビデオ素材を使い、英語でCMをつくるなど、生きた英語力のアップにPDAを活用。  
**音楽**  
DTM(Desk Top Music)ソフトによって、作曲活動にも挑戦。感性をより柔軟に伸ばす。  
**図書館**  
無線LAN化された図書館では、書物だけでなく、インターネットなどを利用した調べ学習が可能。

【充実のシステム構成】



今回はカガミクリスタル社長の西桂一郎さんと神戸新聞社社長の稲垣嗣夫さんにインタビュー。第一線で活躍する甲南卒の社長お二人に、現在のお仕事や甲南時代の思い出についてお話しいただきました。

## 分け隔てなく、相手を尊重する 私の気質は、生粋の甲南生の証です

西桂一郎さん 1968年経済学部卒業



### PROFILE

1968年に甲南大学経済学部を卒業後、日本板硝子株式会社に入社。自動車メーカー担当の営業マンとして活躍し、1998年に営業本部長、2000年に執行役員となる。2002年に子会社のカガミクリスタル社長に就任。

カガミクリスタルは日本ではじめてのクリスタル専門工場として1934年に始まり、現在はその高い技術によって宮内庁や首相官邸にも製品を納めている老舗です。私はこれまで日本板硝子株式会社の社員として勤務してきましたが、昨年、その100%子会社であるカガミクリスタルの社長に就任しました。

この業務に就いたとき思ったのは、会社や立場が変わったからといって、自分のスタイルであるお客様第一主義を変えないということ。今後自分らしく、まず、相手のことを考える姿勢で頑張っていくことを考えています。それに本音を言ってしまう、実はこつした気質の大部分は、私が社会に出る以前、幼稚園から大学までの18年間の甲南生活で培ってきたことです。そう簡単に変えられるはずがありません笑。

自分が甲南生活の中でそんな気質を育んできたと思えば、卒業後、10年以上も経ってからは、意外に思われるかも知れませんが、マレーシアで海外勤務を体験したことがきっかけでした。マレーシアではマレー人、中国人、インド人といった異なる種族の人々が暮らしており、宗教もイスラム教、ヒンズー教、仏教、キリスト教とバラバラなのに、みんなが仲良く暮らしています。これはそれぞれが相手を尊重し、必

- 西さんの甲友録
- 京谷 光雄さん  
68年経済学部卒業  
(株)デンソー
- 西村 邦彦さん  
68年理学部卒業  
Fuji & West
- 住友 信夫さん  
68年文学部卒業  
住友軽金属工業(株)
- 寺嶋 宗彦さん  
68年経済学部卒業  
一丸(株)
- 西郷 隆暁さん  
68年経営学部卒業  
スターライト工業(株)



要以上に干渉しないようにしているからですが、私は赴任当時、日本では考えられないその光景に、ずいぶん驚いたものです。ところがそこでよく考えてみれば、自分自身、社会の中で派閥や男女の壁を気にしないので、不思議な人とよく言われてきました。そのときにならなければ、めてあ自分もこの国の人たちと同じように相手を尊重する気質を持っているようだ。しかもそれは、自由で分け隔てのない甲南学園で教育を受けたからこそ、自然に身についたものだと気が付いたのです。

皆さんも甲南会や同窓会などの集いに出席すると、ホッとしますが、あれはただ母校の仲間に出ているという安心感だけでなく、相手も自分を尊重してくれる気質の持ち主が集まっているからではないでしょうか。私はそんな甲南の輪を、もっと広げていきたいと思っています。これまでも若い頃から、新制高等学校の同窓会や東海甲南会の設立に参画したり、運営を支援してきましたが、もっと大勢の同窓生が協力し合っていけたら素晴らしいと思います。ぜひ、私たち一人ひとりの手で、甲南ブランドを強化していきたいでしょう。



私は現在、神戸新聞とデイリースポーツの新聞社の社長を兼務しています。またたくましい異なるメディアのようですが、そうでもないんです。神戸新聞はジャーナリズムによって世の中に警鐘を鳴らす役目を、デイリースポーツは娯楽、スポーツを通して社会を活性づける役目を果たしていきたいと考えています。世の中に貢献していくには、新聞は実際、その複眼的思考が重要なんですね。

中でも、地元根差した新聞社として、兵庫県のために事業を積極的に展開していきたい。報道はもとより、文化事業、そして社会事業を通してさまざまなカタチで地域を盛り立て、信頼を培っていかねば私たちの発展などあり得ませんから。具体的には神戸新聞として55万部、デイリースポーツとして100万部を発行しているほか、文化の発信拠点として本社ビルに多機能の松方ホールを備えており、これらにより、年間主催200件、後援1900件の事業に携わっています。また、メディアが多様化したいまは、紙面だけにこだわるのではなく、サンテレビ、ラジオ関西と連携したメディアミックスで情報を総合的に発信していきたいですね。まあ、いまはこんなふうに会社のビジョンをい

## 甲南は、全人格を磨く場 今後も優れた後輩を輩出してほしい

稲垣 嗣夫さん 1964年理学部卒業



ろいろ考えていますが、学生時代は、理学部経営

理学科の岸本先生のゼミ「コンピュータを専攻していました。その先生のとろくに神戸新聞から、誰か専門知識を持つ学生を」という要請があったので、たまたま私が面接を受けに行っただけです。それも神戸新聞のことはよく知らなくて、父親が毎日読んでいたデイリースポーツなら面白そうかと思っただけ(笑)。いま思えば不思議な縁としか言いようがありません。

当時、神戸新聞では業界に先駆け、IBMのパーソナルシステムを利用した会計ソフトウェアシステムを構築しており、私はこれをコンピュータシステムに切り替える仕事に携わりました。それから実は何百本というソフトを開発しました。経営に参画するようになったのは、その業績が評価されたこと、周りは文系人間ばかりですから私のようにロジカルに問題解決していく理系タイプが重宝がられたのでしょう。

私の半生を振り返って思うのは、甲南大学には、学問だけに限るのではなく、全人格を磨く気風があったと思います。これはきつと、これからの不透明な社会でとくに求められることではない。今後、多くの人が甲南で人間性に磨きをかけ、社会の第一線で活躍されることを願っています。

### PROFILE

1964年に甲南大学理学部経営管理学科を卒業後、神戸新聞社に入社。システムアナリストとして17年間活躍した後、1982年に総合企画部長となり、経営戦略に携わる。2003年より社長に就任し、現在に至る。

### 稲垣さんの甲友録

- 沖本 健二さん  
64年理学部卒業  
富士通西日本  
アプリケーションズ(株)取締役
- 平野 昌司さん  
64年経営学部卒業  
神戸市会議員 議長
- 岡崎 寛さん  
64年理学部卒業  
円和(株)代表

## 長楽館

土手 素子さん  
[土手祥世さん(文4年)のご父母]

明治の洋館ならではの優雅な雰囲気も魅力

長楽館は「明治の煙草王」村井吉兵衛の別荘として明治42年に建てられました。ルネッサンス風の建築様式に、ルイ15・16時代のファニチャーが採り入れられた古い洋館で、本格コースをお楽しみください。アフタヌーンティー(¥2500・要予約)も用意しております。



本誌持参で...  
グラスワイン  
1杯サービス

住所 / 京都市東山区祇園山公園内  
TEL / 075-561-0001  
営業時間 / (レストラン) 11:00 ~ 22:00 (ラストオーダー20:00)  
(喫茶) 08:30 ~ 22:00 (ラストオーダー21:30)  
定休日 / なし  
ホームページ / www.chourakukan.co.jp  
おすすめ / 和牛フィレステーキ フォンドヴォまたは和風ソース 4,000円、  
和牛サーロインステーキ フォンドヴォまたは和風ソース 4,000円

## 京都洛東迎賓館 レストラン秀岳

大野木 伸幸さん [75年理学部卒]

シェフの感性が薫るイタリアン&フレンチ

昼・夜ともにグランドシェフおすすめの日替わりメニューをご提供。いずれも季節の素材を大切に、じっくりと手間ひまかけて仕込んだこだわりのレシピです。また、窓越しには大正ロマンを感じる美しい日本庭園が広がり、ゆったりおくつろぎいただけることをお約束します。



本誌持参で...  
グラスワイン  
1杯サービス

住所 / 京都市山科区竹鼻堂ノ前町35-1  
TEL / 075-581-0001  
営業時間 / 12:00 ~ 14:30, 17:00 ~ 21:00  
定休日 / なし(完全予約制)  
ホームページ / www.kr-geihinkan.com  
予算 / 昼 3,800円、5,000円コース  
夜 6,000円、8,000円、10,000円コース

## クックチャム(深草店)

角井 美佐江さん  
[角井美穂さん('98年卒)のご父母]

毎日約70種の手づくりおかずが楽しめる

家庭の味をそのままに、できたてのおかずを提供しているテイクアウトのお惣菜屋です。手頃な価格で、毎日の食事に欲しいものを欲しい量だけお買い求めいただけます。1日約70種の手づくりおかずをつくってお待ちしております。



本誌持参で...  
巻き寿司1本  
サービス

住所 / 京都市伏見区深草綿森町21-4  
TEL / 075-643-7581  
営業時間 / 10:30 ~ 20:00  
定休日 / 日曜日  
ホームページ / www.kakui-food.com  
おすすめ / 京風巻き寿司350円、豆腐ハンバーグ120円、  
酢豚(100g)150円

## 京料理 花末

杉本 工さん [76年法学部卒]

素材にこだわった京料理を自慢の器で賞味

旬の京野菜や新鮮な山海の味覚をすりすぐってとり合わせます。素材の持ち味を大切に、京料理の技術の粋を結集して、自慢の器でご賞味いただけます。オススメは京風松花堂幕ノ内(¥4000~)、京会席(¥8000~)など。仕出しのご注文もお受けしております。



本誌持参で...  
5000円以上  
飲食された方に  
ビールまたはお酒  
1本サービス

住所 / 京都市右京区花園妙心寺南門東  
TEL / 075-463-5101  
営業時間 / 11:00 ~ 15:00, 17:00 ~ 21:00  
定休日 / 水曜日(祝日は営業)  
ホームページ / www.kyokanko.or.jp/shokuji\_d.phtml?id=et0018  
予算 / 昼 3,000円~、夜 4,000円~

## グルメ・KONAN 京都編

# 京都を訪れたら寄ってみたい ゆったりくつろげる甲友の店

卒業生や現役生のご家族が営まれる飲食店を紹介していく「グルメ・KONAN」。今回は京都編をお送りしていきます。例えば、少し敷居の高いイメージの京料理でさえ、ざっくばらんな甲友が営んでいる店なら、ほかより親身なサービスでもてなしてもらえるかも!? 京都に出掛けたら、ちょっとのぞいてみませんか。

## 京料理 京藤

藤本 祐義さん [57年経済学部卒]



本誌持参で...  
ビールまたは  
お酒1本  
サービス

バンカラ魂ここにあり!  
うまいもんには一本気の老舗

京都駅からわずか5・6分、古い街並みが残る一角に「京藤」とのれんのかかる一軒がありまして、「じんまり」として、常連の隠れた的な雰囲気漂わせるこの店、オーナーを務めるのは甲南大学応援団の創部メンバーでもある藤本さんです。今回は老舗「京藤」を訪れ、藤本さんにお店のこだわりや、甲南時代の思い出を尋ねました。

「京藤」のこだわりはとにかく単純。安くてもうまいもんを出すということです。京都の料理は高くて美味しいと言われるのが嫌で、ウチは絶対に天然のネタを使うし、きちり手間をかけるけれど、値段は比較的安く設定しています。おかげで常連さまも舌の肥えた方が多いです。なぜ、そんなことができるのかと言えば、極端な話、

私がこの店で働く気がないから笑。どちからかと言えば、いつも来てくださるお客さまのため、ここから巣立っていった大勢の板前のために、のれんを降ろせないという思いで続いています。また、ときどき訪ねてくれる応援団の後輩にもうまい料理を食べさせてやりたいですね。

学生時代を思い起こせば、私は応援団の創部に携わったメンバーでした。あの頃は誰も指導者がいないので、みんな腕の振りも何もまったく息が合っていなかった笑。ところが卒業後の団結は固くて、しっかりしたOB会が組織されていて、だからいまでも、ぶらぶらと立ち寄ってくれる仲間や後輩たちがいるんですよ。

今年もその寒くなり、これからは寒ブリやふぐ、白子、カニなどが旬を迎えます。とくにブリは毎年早くから予約が入るほど美味いんですよ。お電話で予約していただければ、きっちりサービスさせていただきますので、ぜひ京都にお立ち寄りの際は、ぜひ京都会社にお立ち寄りの際は、私に利用いただければ、私としようしに限りです。

住所 / 京都市下京区七条通新町東入ル  
TEL / 075-371-2667  
営業時間 / 16:00 ~ 22:00  
定休日 / 日曜日(祝日は営業)  
予算 / 6,000円~  
おすすめは季節の旬、懐石料理(9品)8,000円(税別・サービス料なし)旬の一品料理多種(日替り)



カウンター10席のほか座敷  
大小4室、京都の古い屋敷  
で中庭に面した部屋もある。



広報部での現場体験が  
将来を考えるきっかけに

私がこのインターンシップに参加しようと思ったのは、学生の立場でビジネスの現場を直接体験できるのは、かけがえのない機会だ」と、直感的に感じたからです。では、どうして甲南学園広報部を選んだのかという、業務内容に、「記事の企画運営」「HP制作」があったからです。私のような二学生に、この企画をイチから任せてもらえ、またHP制作を通して、大学の情報を多くの人々に発信できることは、非常に意義のあることだと感じました。実際に現場での仕事が始めると、連日のミーティング、インタビューに備えた事前調査、パソコンを使ったアンケート集計など、普段学生ではなかなか体験できないことばかりでした。

そのような数々の体験の中で一番印象に残るのは、取材などを通じて知り合った様々な職種で活躍されている先輩方です。その方々は、新聞記者、コピーライター、コンサルティングなど私たち学生が憧れの職業として望んでいる方々でした。

私は、普段、学生起業家のメンターとして活動しており、その活動の中で直面した問題について、インターンシップでお会いした方々に意見を伺うことができ、非常に勉強になりました。たくさんのお会いの中、お会いしたみなさん全員と今後もお付き合いを願うことは困難かもしれませんが、少しでもみなさんの意見をもち、大きな人間に成長していきたいと思えます。

インターンシップに参加して感じたことは、もっと多くの学生に参加していただきたいということです。大学で毎日講義を受けるのも大切ですが、実践はそれ以上に貴重な体験となります。講義やアルバイトではなかなか得ることができないものが修得できる、それがこのインターンシップです。参加してみることにより、「将来の自分について考える機会となります。今後は、OCAプログラムを希望する学生が希望する業種を体験できる、そのようなインターンシップ制度の充実を願っています。多くの学生が参加することを願っています。」



## 今回の甲南Todayは、 私たちがつくりました。

本誌を読んでいて、いつもとちょっと違うなと思われたあなたは、かなりスルドイ。実は今回の甲南Todayの編集には、学生に社会を体験してもらおう経営学部  
のOCAプログラムによって派遣された二人が参加していたのです。何から何まで初めての編集の現場、二人にはどんな体験となったのでしょうか。



自分の提案した企画が  
出来上がっていく過程に感動

「自己満足からの脱却」と、周りへの感謝を忘れない。今回のインターンシップで、最も勉強になったこと。以前は勉強課題やアルバイトにおいて、自分なりに精一杯やれば、それなりに評価され、そこで充分完成（だ）と感じていました。しかし、実際に働くという環境では、努力さえすれば仕事が完成する、という考えは全く通用しないと痛感させられました。

今回行った業務は特集記事です。幸運にも、自分達が興味あるテーマの記事を取り上げてもらえることもあり、もともと企画や編集に興味があったので、とても魅力を感じる仕事でした。ページ数にしてみれば、たった4ページ。しかしこの4ページが完成するまでに3ヶ月もかかりました。取材の依頼書を作成したり、企画を何度も練り直したり、それに合わせて、調べることも本当にたくさんありました。

この時、「ここまでやったら終わり」といつか甘えは通用しません。なかなか状況が進まない場合に辛いと感ずることもありました。そのたびに広報部の上司の方々に支えられ、何とか乗り越えることができました。自分でやり始めたことなので最後までやり遂げようと、強く思えるようになり、また、「これだけやっただもダメだ。なら他の方法でやってみよう」と、発想を切り替える姿勢に変わりました。

今回のインターンシップで、会いたいと思った社会人の方々に、実際お会いしてお話を伺えたときは、本当に嬉しく、この方からも「生き生き」と働くエネルギーを分けていただきました。

初めは単なる提案にすぎなかった企画が、広報誌として徐々に形あるものとして出来上がっていく過程に、わっと感動が込み上げてきました。仕事というものは、多くの方々の協力があってこそ完成するものだとか、今回一緒に仕事をさせていただいた方々に感謝しています。学んだことを忘れず、社会でも生き生きと活躍していきたいと思えます。



プロのライターさんと一緒に卒業された先輩を訪れ、お話をうかがいました。

**募集!** 経営学部では、OCAプログラムの学生を受け入れていただける企業・団体などを募集しています。  
詳しいお問い合わせはこちら → 経営学部事務局 TEL 078-435-2441 まで

## 甲南フォーラム KONAN FORUM ダイジェスト

### 文学部人間科学科谷口研究室の 上村さんたちが優秀賞を受賞

文学部4年の上村恵子さん、藤井孝明さん、楠てるみさん、田畑北斗さん、大村礼子さんが神戸市の、震災の教訓を踏まえて、これからの神戸の魅力づくりについて、「優秀賞を受賞しました。これは、阪神・淡路大震災から8年半あまりが経過した神戸市が、復興の総仕上げに向けて行っている、復興の総括・検証の一環として、次代を担う学生から提言を募集したもので、応募総数34点の中から、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作4点が選ばれました。上村さんたちの提言は、「自給自足生活の体験学習塾」設置と、「テーマで、文学部人間科学科谷口研究室で展開している、環境教育」での実践を踏まえた内容です。受賞理由は、「自然

### 体育会陸上競技部が 兵庫学生新記録

と共生環境人材育成は重要な課題である。震災時の経験を心のふれあい、助け合いを含む自給自足体制とみなし、その疑似体験スペースをつくることにより、生きることの原体験を神戸から発信しようとする、実践例を踏まえた提案として評価されました。

11月4日、神戸大学百年記念館六甲ホールで神戸にある大学・短期大学・高等専門学校、の学長・校長と市長・助役との懇談会の中で表彰式と作品発表会が行われました。

体育会陸上競技部が、10月11日〜12日に群馬県敷島公園陸上競技場で開催された第87回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4x400mリレーで4位入賞しました。メンバーは、杉山佳美さん(経営2年)、股座久美子さん(文1年)、鈴木由希子さん(経営1年)、横溝由奈さん(文2年)の4名で、兵庫学生新記録を樹立しました。



日正午から、開会式に引き続き、試合が行われ、今年は50回を記念して、初めてOB・OGも交流戦を行いました。両校併せて50名以上のOB・OGが参加し、生涯学習スポーツ卓球ならではの熱戦が繰り広げられました。

試合終了後は、平生記念セミナーハウスで記念セミナーが行われ、緊迫した試合とは変わって、厳粛な式典の後、懇親会の乾杯を終え、昔話と当日の試合の話でおおいに盛り上がりしました。懇親会の最後は両校の校歌斉唱と干し交換でお開きとなりました。翌日は、学生選手のみの本戦が行われ、試合結果は、男子は4対3、女子は6対1でともに学習院大学の勝利でした。なお、OB・OG戦は甲南大学が4種目中3種目で優勝しました。

### お知らせ

**法学部経営法学科の募集停止について**  
法科大学院（ロースクール）の設置に伴い、2004年度より法学部経営法学科の募集を停止します。これに伴い、経営法学科の入学定員140名を法学科に付加し、法学科の入学定員を210名から350名に変更します。



### 体育会卓球部甲南・学習院 定期戦50回記念大会

11月1日と2日にかけて、体育会卓球部甲南・学習院定期戦50回記念大会が講堂兼体育館および三木記念体育館で行われました。初

### 甲南大学の卒業生・ 教員が執筆した 新刊 レビュー



**失恋という幸福**  
U教授の『恋愛論』講義  
上村 くにこ(文学部教授)著  
人文書院 ¥2,400(税別)



**はじめての中国語 会話ツール24**  
胡金定(国際言語文化センター教授)著  
同友社 ¥2,500(税別)



**むしゃむしゃ武者**  
藤川 智子(85年文学部卒)著  
講談社 ¥1,500(税別)



**ドキュメント 女子割礼**  
内海 夏子(76年法学部卒)著  
集英社新書 ¥700(税別)



**旅の終わりはいつも**  
宮家 米夢(菅原尚子 78年理学部卒)著  
文芸社 ¥1,300(税別)

### 2003年 2004年 交換留学生が来日



9月2日、アメリカ、イギリス、フランスなどの協定大学から交換留学生39人が来日し、すでに今年1月からスタートしているオセアニア圏の留学生3人とあわせて42人になりました。

自治会中央委員会国際交流委員会（IECC）では、甲南大生と交換留学生との交流を図るため、10月24日、平生記念セミナーハウスでウェルカムパーティを開催しました。衣装が恒例となりましたが、IECCのメンバーは、もうと雰囲気を感じ上げようと、ハロウィンでかぼちゃをくり抜いた提灯ジャック・オランタンを描いた風船やミラーボールなど、会場のデコレーションにも趣向を凝らしました。一番の盛り上がりは、留学生紹介紹介される留学生一人ひとりに200人近い参加者から温かい拍手が贈られました。



IECCは、これからも留学生が帰国する5月まで、クリスマスや新年の催しなどを企画していく予定です。

### ホストファミリー募集

甲南大学では年間約60名の交換留学生(夏の短期留学生含む)を受け入れており、留学生はホストファミリーと過ごしながら、直接日本の文化に触れ、勉強に励んでいます。国際交流の第一歩としてホストファミリーをしてみませんか？詳しくは、国際交流センターのホームページ、または左記の連絡先までお気軽にご連絡ください。  
<http://www.adm.konan-u.ac.jp/kiacc/>  
TEL (078) 4552 1641(直通)

### 文化会女声合唱団アモロソ

【日】 12月19日(金)  
【場】 開場 18時30分 開演 19時  
【曲】 所 伊丹アイフォニックホール  
(J.R)伊丹駅より北西へ7分・阪急伊丹駅より北東へ4分)  
【目】 無伴奏女声合唱のための「5つの折り紙」より 木下牧子作曲 関谷芳華指揮、胸の奥の幼い宝箱、いるあせないもの、「風のオルガン」工藤順子作詞・作曲 矢島マキ他編曲 乾友香指揮 鹿野由行伴奏他

### 文化会マンドリンギタークラブ

【日】 12月21日(日)18時30分  
【場】 所 尼崎市総合文化センターアルカイックホール 阪神尼崎駅より北東へ5分

### 文化会交響楽団

【曲】 狂詩曲「海」鈴木静一作曲 組曲「シントの幻影」Giulio de Micheli 作曲 中野二郎編曲他

### 第43回定期演奏会

【日】 12月27日(土)19時  
【場】 所 神戸国際会館こくさいホール (J.R)三宮駅・阪急・阪神三宮駅より3分  
【曲】 チャイコフスキー 交響曲第5番 水短調、ドリーフ バレエ組曲「シルヴィア」、サン＝サーンス 歌劇「サムソンとデリラ」よりパカナー

【指】 田久保裕二(客演指揮)、佐藤敦(女学生指揮)  
【入場料】 500円

### 学長候補者選挙を行う

吉沢英成学長の任期が2004年3月で満了するため、次期学長候補者選挙が、11月12日の予備選挙にはじまり、28日の第3次選挙まで行われ、選出された候補者・経済学部 杉村芳美教授は、理事会などの議を経て2004年4月1日付けで学長に就任します。任期は2008年3月までの4年間。

### 第39回学術祭

### 第133回現代講座開催

自治会中央委員会現代講座委員会・広報部が共催する現代講座を11月21日、午後2時30分から、漫画家、コラムニストの夏目房之介氏を講師に迎え、「マンガと人生」をテーマとして開催しました。講演では戦後マンガの歴史を中心として日本におけるマンガの位置付け、子どもマンガと大人マンガをもとに思春期・青年期の人々を対象として発達してきたことや、日本の若者たちが自己表現のひとこととしてマンガを選び、またマルチミアアの発達とともにテレビでの共存が大きく影響していることなど、アニメ文化論について熱く語られました。



### 法科大学院(ロースクール)設置認可記念シンポジウム

文部科学省に申請していた2004年4月の法科大学院の設置がこの度認可されました。法曹養成高等教育研究所では、この認可を記念して、公開シンポジウムを行います。(参加自由)

【日】 12月13日(土)14時から17時  
【場】 所 甲友会館  
【テーマ】 「法と企業」 女性が語るステージパネリスト

奥谷博子氏(ザール社長、社団法人経済同友会幹事、IPSON社外取締役)  
浅見節子氏(特許庁上席総括審査官、前橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授)  
片岡祥子氏(松下電器産業法務本部法務グループ主事、弁護士)  
井野瀬久美恵氏(文学部教授)  
フロア・コメンテーター  
長尾ひろみ氏(神戸女学院大学文学部助教)

前嶋京子氏(帝塚山大学法政策学部教授、司会)  
渡辺修氏(法曹養成高等教育研究所長、法学部教授)

### 第48回甲南大学対学習院大学運動競技総合定期戦閉会式

【日】 12月13日(土)13時から  
【場】 所 講堂兼体育館

### 第134回現代講座

【日】 1月10日(土)14時から  
【場】 所 813講義室  
【講師】 堤幸彦氏(映画監督・演出家)  
【テーマ】 未定

### 潮海ゼミ同窓会「潮友会」の開催

潮海ゼミ最後のゼミ生を送る会と潮海ゼミ同窓会を次のとおり開催いたします。お誘いあわせのうえ、是非ご出席ください。

日時 2004年2月22日(日) 午後3時30分～  
場所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル  
問合せ 潮海ゼミ同窓会「潮友会」幹事 溝上 博之  
電話 078-435-2560  
e-mail h-mizogami@adm.konan-u.ac.jp

### 就職イベントスケジュール

就職面接実践講座  
面接突破に向け、少人数による模擬実践を通じて、面接の重要ポイントを個別にチェック・指導し、効果的な自己PRや動作を学ぶために、次の要領で開催します。

【日】 2004年1月31日(土)、2月6日(金)、9月(火)、10月(火)、12月(木)  
【時】 1日4回開催。開始時間は午前10時、午後0時30分、同2時30分、同4時30分。所要時間は90分の予定。  
【場】 所 平生記念セミナーハウス  
【講師】 (株)バノナより2名  
【参加費】 500円  
【申込方法】 2004年1月13日(火)から先着順により就職部で受け付けます。  
【提出書類】 履歴書および申込書

### 企業研究セミナー

新卒就職希望生を対象に、業界・企業研究の一助とする目的で開催します。このセミナーは、就職活動を行ううえで大変重要なセミナーとなります。業務多岐のなかから多くの企業がご参加ください。民間企業へ就職を希望する学生は、社でも多く参加するようにしてください。詳しくは、就職部の掲示板をご覧ください。

【期】 2004年2月13日(金)、3月31日(水)(土曜日および3月5・25日を除く)  
【時】 間 Aは31分 午前10時開始  
(3月4日まで開催)  
Bは31分 午後1時30分開始  
Cは31分 午後4時開始  
【場】 所 1号館および5号館の講義室を予定  
所要時間は90分の予定  
【内】 容 企業説明および質疑応答  
【参加企業】 2月13日、3月4日まで、1日17社、3月10日、31日まで、1日17社、6社を予定  
【申込方法】 同じ時間帯の申し込みは、1人1社に限り。なお、事前の申し込みが必要。

### EVENT SCHEDULE

- 1月 講義再開(5日)  
第134回現代講座(10日)  
法科大学院入学試験(一次募集)(10・11日)  
2003年度講義終了(16日)  
大学入試センター試験(17・18日)  
後期試験(19・30日)  
入学試験 A日程(1・5日)  
入学試験 B日程・B日程C方式・B日程S方式(8日)  
入学試験合格発表(14日)  
体育会祝勝会・文化会顕彰会  
父母の会課外活動表彰式  
文化会リーダーズキャンプ  
法科大学院入学試験(二次募集)(28・29日)  
2003年度卒業認定者発表(5日)  
入学試験 D日程(7日)  
入学試験 C日程理工学部2次試験(11日)  
入学試験合格発表(14日)  
2003年度卒業証書・学位記授与式(25日)
- 2月
- 3月

### 編集後記

OCAプログラムで広報部をやってきた経営学部生一人を迎え、スタートした今回の誌面づくり。憧れの職業への道、学内の気になるスポット探訪など、いつもよりやや現役生の読者を意識した編集となりましたが、お楽しみいただけましたでしょうか。  
広報部では今後、ますます企画を通して幅広い世代の甲友を結び、ネットワークづくりを図っていきます。ご意見・感想などありましたら、ぜひお寄せください。

### BUSINESS FRONTIER ビジネス・エリートを目指すあなたへ

## 2004年度経営学専攻修士課程入学のご案内

甲南大学大学院では、社会人を対象にした夜間主の「ビジネスコース」を開設しています。このコースは、社会の第一線で活躍しながらより一層のキャリアアップを目指す人、より高度な専門職業人や企業家を目指す人などに、幅広い視野と柔軟な思考に立って、実践的問題解決能力を養い、ビジネスの最前線で活躍するための実務能力を身につけていただくとするものです。また、もう一つのキャリアを探究している人などに、経営学の知識を深化させ、あらたなビジネスフロンティアを開拓していただくこと、リカレント教育の場を提供しようとするものです。夜間主の「ビジネスコース」、昼間主の「経営学コース」のいずれの修了者にも修士(経営学)の学位が授与され、修了後は博士後期課程へ進学することもできます。働きながら、もう一つのキャリアを探究し、未来の可能性に向けてさらなるステップ・アップを目指しませんか。

	ビジネスコース(夜間主)	経営学コース(昼間主)
授業時間帯	月曜日～金曜日 6時限(19:00～20:30) および土曜日の 1時限～6時限(9:00～20:30)	月曜日～土曜日 1時限～5時限(9:00～17:50)
出願期間	2004年2月4日(水)～2月10日(火)	
試験日	2004年2月26日(木)	
出願資格	大学を卒業した者、または本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時までに民間企業、官公庁などにおいて1年以上の実務経験を有した者	大学を卒業した者、または2004年3月までに卒業見込の者、その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
選考方法	出願時に提出する実務経験レポート・研究計画書・課題レポートなどに基づく口頭試験	専攻しようとする科目(演習テーマ)1科目に関する論文試験、外国語試験(英語)および口頭試験
納付金	入学金 300,000 授業料 617,000 合計 917,000	

教育訓練給付制度の利用  
2003年度より、経営学専攻修士課程は教育訓練給付制度指定講座となりましたので、申請することによって授業料の一部が給付金として支給されます。  
給付金支給には一定の条件が必要です。

次号予告(2004年3月発行予定)  
Network Konan  
つながる!甲南ネットワーク  
**先端科学技術研究と産官学連携**  
**甲南Today No.16**  
発行日/2003年12月6日  
発行/甲南学園広報部  
〒658 8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1  
TEL(078)431 4341(代)  
印刷/大日本印刷株式会社